

A nighttime cityscape with a digital network overlay of blue lines and nodes. The city lights are visible in the background, and the network lines are superimposed over the scene, creating a sense of connectivity and data flow.

VERITAS™

# DX時代の多様化する SaaSデータ／電子コミュニケーションへの コンプライアンス対応

(Veritas Alta Archiving、eDiscovery、Capture ご紹介)

ベリタステクノロジーズ合同会社

# Veritas Alta リリースに伴う既存サービスの名称変更について

変更前

変更後

Enterprise Vault  
Administration Console



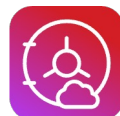
Veritas Alta™ View for Compliance & Governance  
(Alta Archiving管理用WEBコンソール)

Enterprise Vault.cloud



Veritas Alta™ Archiving

Enterprise Vault Personal.cloud



Veritas Alta™ Archiving, Personal Archive  
(パーソナルアーカイブ操作用WEBコンソール)

個々の従業員向けの  
Eメールアーカイブ

Enterprise Vault Discovery.cloud



Veritas Alta™ eDiscovery  
(eディスカバリ操作用WEBコンソール)

監査/eディスカバリ向けの  
Eメールアーカイブ

Veritas Merge1



Veritas Alta™ Capture

Eメール以外コミュニケーション  
ツールのアーカイブ

Veritas Information Classifier



Veritas Alta™ Classification

アーカイブデータの  
規制/ポリシーに準拠したタグ付け

Veritas Advanced Supervision



Veritas Alta™ Surveillance

コミュニケーションのプロアクティブな監視

# Agenda

- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

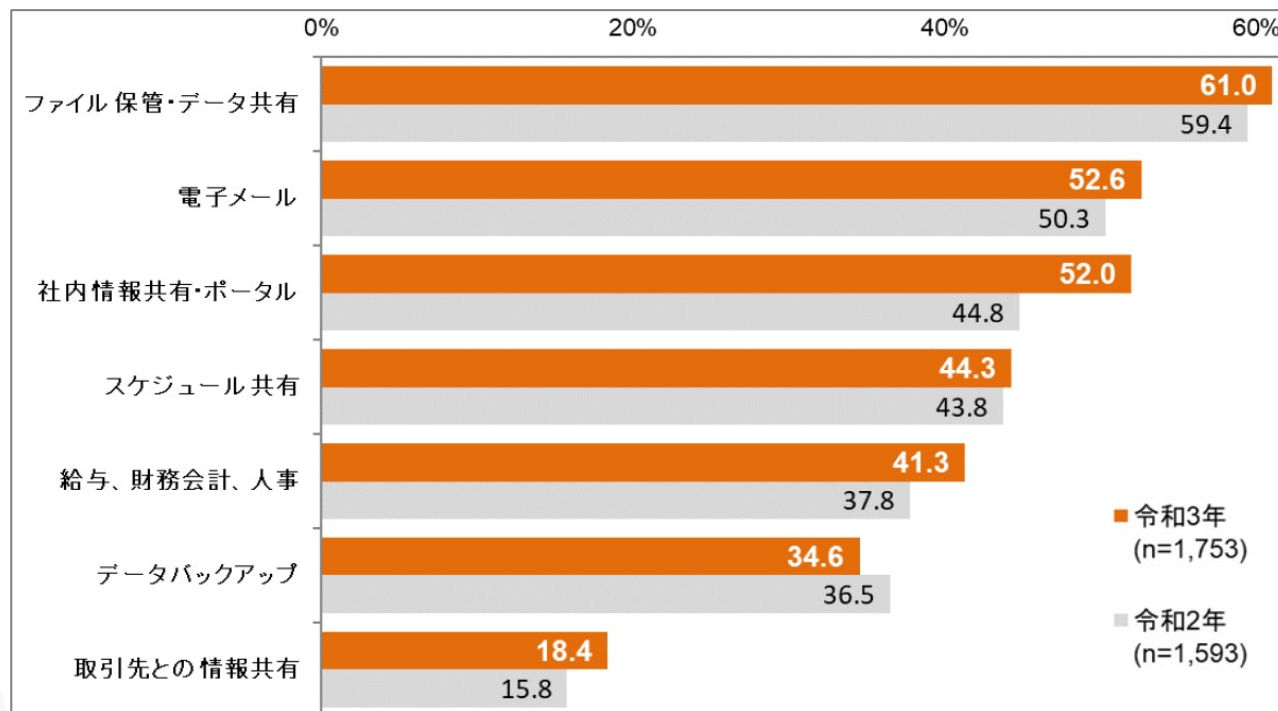
- **法規制対応／電子情報開示の準備の重要性**
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）



# SaaSアプリケーションの利用が進んでいます

## 【総務省：通信利用動向調査令和3年調査】

利用しているクラウドサービスの内容（複数回答、回答数：1753企業）



下記の理由より、  
SaaSアプリケーションの利用が進んでいます。

- ✓ 資産や保守体制を社内に持つ必要がない
- ✓ システムの容量変更や拡張が容易

総務省：通信利用動向調査令和3年調査（令和04.05.27公表）より、抜粋  
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a.html>

# 電子コミュニケーション・ツールの多様化



コミュニケーションは、**コラボレーションツール、メッセージング、オンラインストレージ**などに拡大しています  
データ保持、データプライバシー、コミュニケーションの監視などに関する **新たな規制が急速に生まれています**

**25%**

従業員の 25% が、**1日の半分以上**を電子メールだけでなく、  
これらの**コラボレーションツールやメッセージングツール**に費やしています

**71%**

従業員の 71% が**これらのツールを使って機密データ、個人情報、  
企業の機密情報を共有**しているといいます

企業は規制対応、コンプライアンス対応のため、  
電子コミュニケーションの**管理・調査の仕組みが必須**

出典：「The Hidden Threats of Business Collaboration」2021年3月ベリタス実施

# ついに日本企業にGDPR違反

## ついに日本企業にGDPR違反、個人情報漏洩が制裁の理由ではない

12/19(月) 9:30 配信 4 返信 1 共有

Forbes JAPAN



Getty Images

日本企業初の制裁金か——。2022年11月初旬、欧州連合（EU）のGDPR（一般データ保護規則）に違反したとして、通信事業者であるNTTデータの海外子会社に6万4000ユーロ（約900万円）の制裁金が課せられたとの報道があった。単なる偶然ではあるが、筆者は今年中に日本企業の海外子会社や関連会社がデータプライバシー法規制の制裁対象となると予測していたため、驚きというよりは「ついにきたか」というのが率直な反応だった。今後、同様に日本企業が制裁対象になる案件が次々に出てくる可能

- ✓ 2021年のGDPRによる制裁件数は**400件以上**
- ✓ 1件あたりの平均制裁額は**約4億円**（約286万ユーロ）
- ✓ **日本企業にGDPR違反**
- ✓ **制裁理由**に対する誤解「個人情報の漏洩」に対してではなく「**個人情報の取り扱い方**」に対しての措置

制裁金リスクを低減するため、企業が保有している情報の把握、個人情報の適切な取り扱い、その「仕組み化」が必要

法規制対応というと、  
他人事のように聞こえるかもしれませんが、  
**そんなことはありません！！**





# 証拠保全、コミュニケーションの調査、証拠開示手続きの準備はできていますか？

## 米国民事訴訟（証拠開示手続き）

- ✓ 日本企業をターゲットとした**クラスアクション**（消費者集団訴訟）
- ✓ **国際カルテル**（価格／生産量の協定）や、**海外腐敗行為防止法**（ワイロ禁止／会計の透明性）の違反疑い
- ✓ **パテント・トロール**  
（訴訟を起こす目的だけに特許を買い集める団体）の特許侵害訴訟
- ✓ **製造物責任法**（損害賠償責任）で訴訟
- ✓ **役員／従業員の引き抜き** …など

## 内部調査

- ✓ **不正取引**の有無の確認
- ✓ **ハラスメント調査**
- ✓ **内部監査** …など

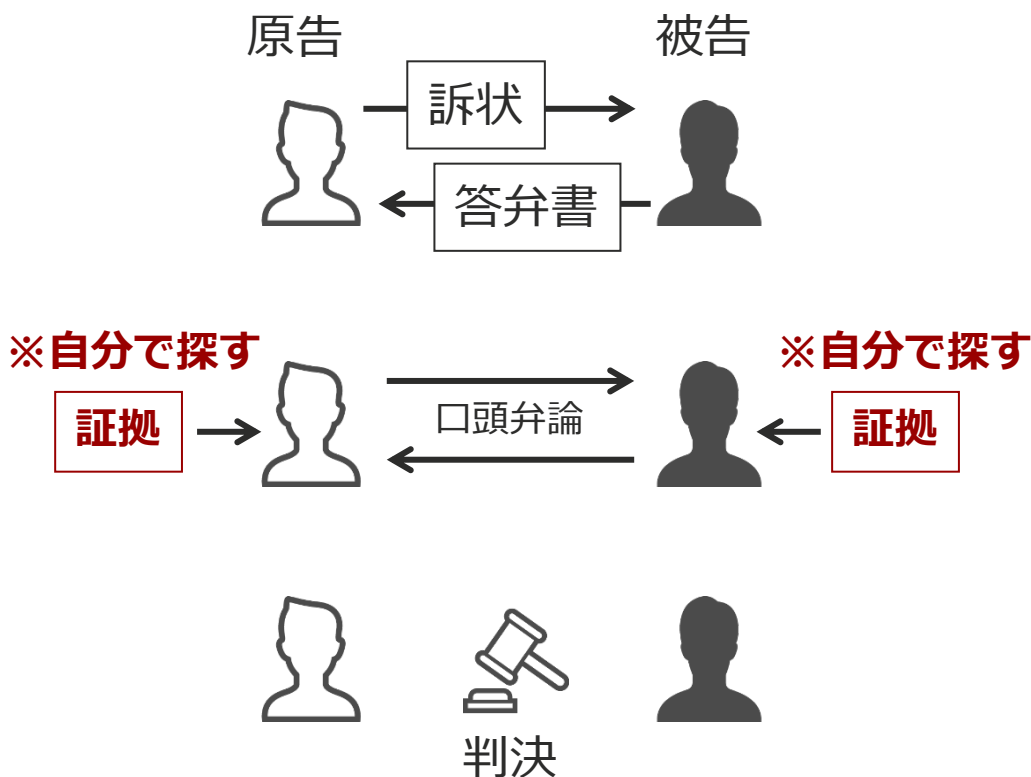
これらは、普通の国内企業が  
証拠保全、コミュニケーションの調査、証拠開示手続きが必要になる事案

- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- **米国民事訴訟における eディスカバリ の位置づけ**
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

# 【参考】国内民事訴訟の流れ

## 国内民事訴訟の流れ

- 訴えの提起
  - ✓ 訴状提出／答弁書提出
  - ✓ 事実／証拠の収集
- 口頭弁論期日
  - ✓ 証人尋問など証拠調べ
  - ✓ 主張の補充／整理
- 判決
  - ✓ 判決原本作成
  - ✓ 判決言い渡し



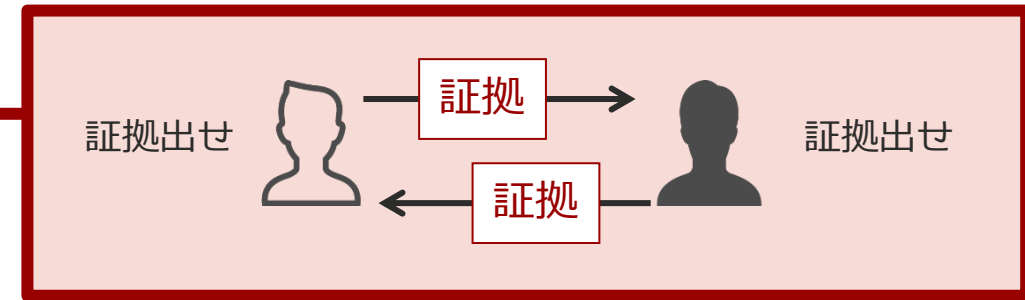
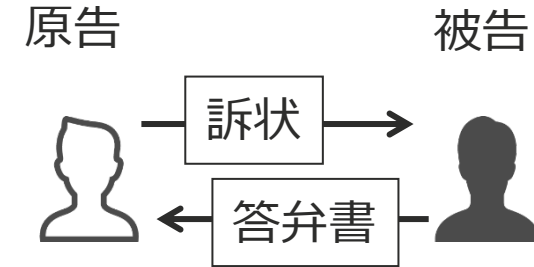
**事実や証拠を集めるのは、当事者が自分の責任で行う**  
裁判所は当事者の主張を聞いて、中立的な立場で判断

… 弁論主義  
… 当事者主義

# 米国民事訴訟の流れ

## 米国民事訴訟の流れ

- 訴えの提起
  - ✓ 訴状提出／答弁書提出
- プリトリアル
  - ✓ **ディスカバリ（証拠開示手続）**
  - ✓ 各種申し立て
  - ✓ 簡易判決など
- トライアル（公判）
  - ✓ 陪審選定
  - ✓ 証人尋問
- 判決
  - ✓ 陪審評議と評決
  - ✓ 判決言い渡し



**証拠を要求し、相手に出させる**

(日本どころではない) 当事者主義  
90%以上がプリトリアルで和解



# ディスカバリ（証拠開示手続）とは

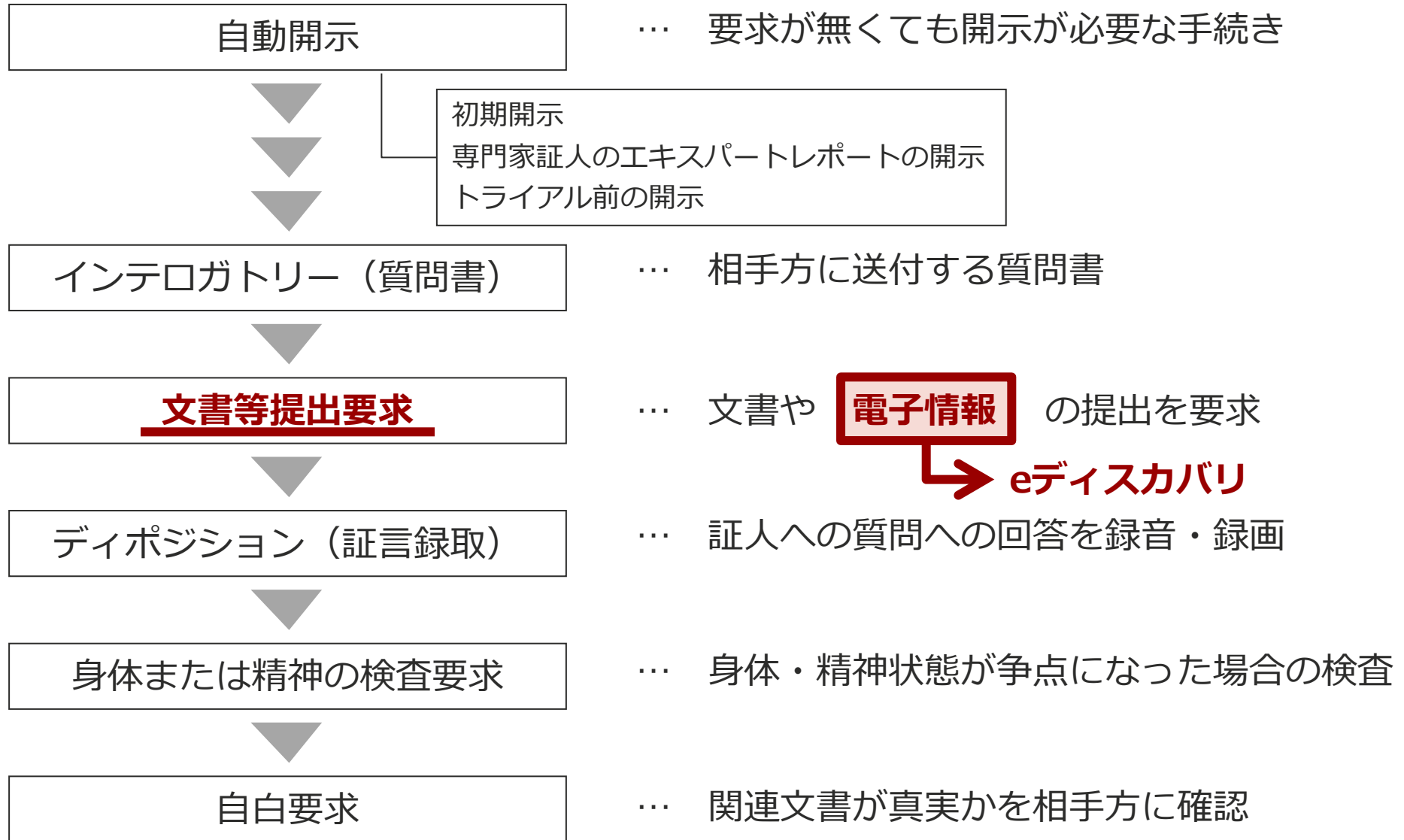
■ディスカバリとは  
公判（トライアル）前に争点に関する情報を、  
**相手方の要求に基づき情報開示**する手続き。

「Discovery：発見」の意味のとおり、証拠を「**出させる・見つけに行く**」の意味合いが強い。  
ディスカバリを要求する側のイニシアチブが強い。  
ディスカバリにより、手の内が分かり、和解になりやすい。（90%以上）

**米国民事訴訟手続きの中で、最も時間とコストを要する。**



# ディスカバリの流れ



# 文書等提出要求 / eディスカバリとは

## ■ 文書等提出要求

争点に関連した情報が書かれている可能性のある

**文書／電子情報の提出を相手に求める**こと。**期日以内に提出**する必要がある。

## ■ eディスカバリ

- **費用は提出側**が原則が持つ、5千万～3億円になることも
- 開示対象
  - ✓ **コミュニケーションに関する情報**
  - ✓ ログ、資料の修正履歴
  - ✓ 秘匿特権※1、ワークプロダクト※2が適用できれば開示不要

※1 「依頼者と弁護士間の法的助言を得るためになされた、秘密のコミュニケーション」であれば、相手方に開示しなくて良い

※2 「訴訟準備のために作成された文書等」は、相手方に対する開示の対象から除外される



メール



ドキュメント  
(ファイルサーバ)



社内ポータル

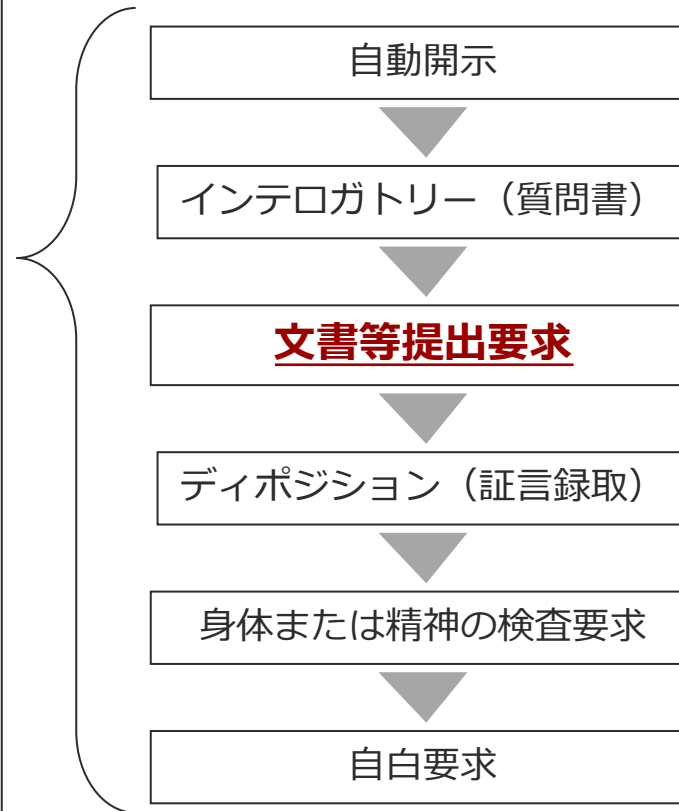


テキストメッセージ

# eディスカバリの位置づけ

## 米国訴訟の流れ

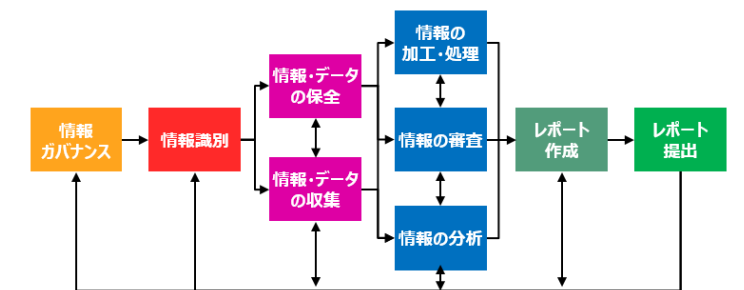
- 訴えの提起
  - ✓ 訴状提出／答弁書提出
- プリトリアル
  - ✓ **ディスカバリ (証拠開示手続)**
  - ✓ 各種申し立て
  - ✓ 簡易判決など
- トライアル
  - ✓ 陪審選定
  - ✓ 証人尋問
- 判決
  - ✓ 陪審評議と評決
  - ✓ 判決言い渡し



• 文書  
• **電子情報**

↑  
ここが

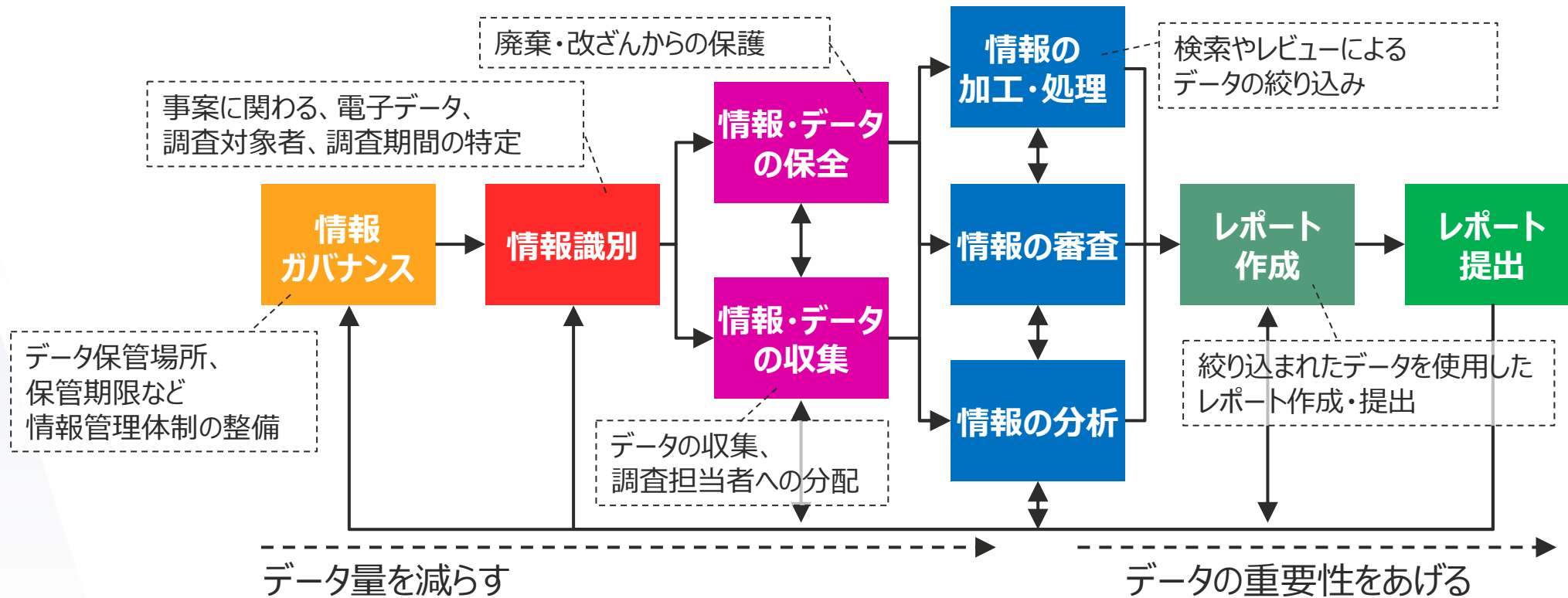
## **eディスカバリ**





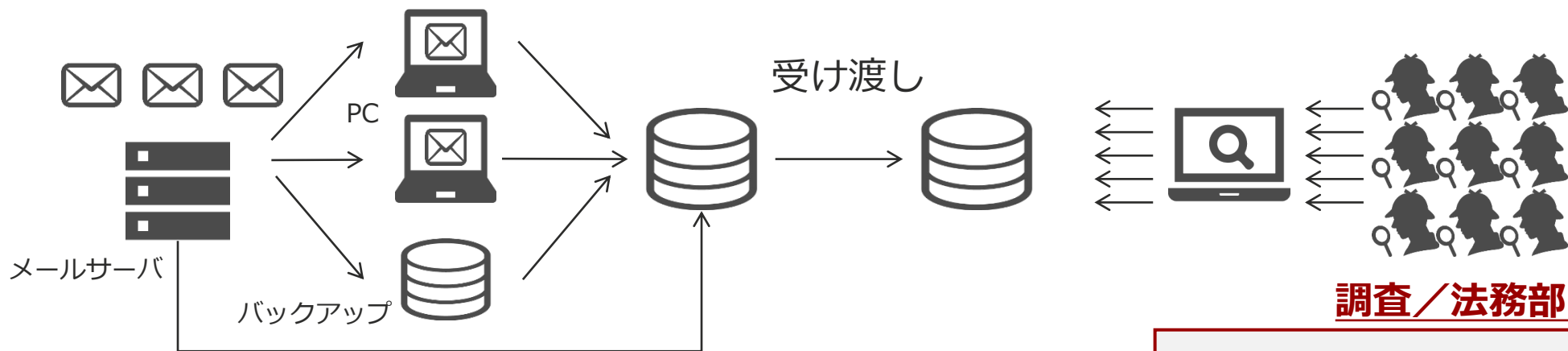
# EDRM (eDiscovery Reference Model)

EDRMは、**eディスカバリのワークフロー**として、世界標準の作業指標として、法律事務所、サービスベンダーなどで採用されています。本フローは、**コンプライアンス社内調査にも活用**されています。



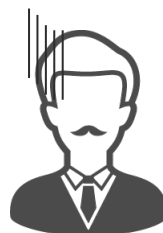
- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- **eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント**
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

# EDRMを手動とポイントソリューションで実施すると…



## IT部門&専門業者

- ✓ 個々のPCやサーバからデータを手動収集
- ✓ 改ざんのを疑われる可能性
- ✓ 見てはいけないデータを見てしまうリスク



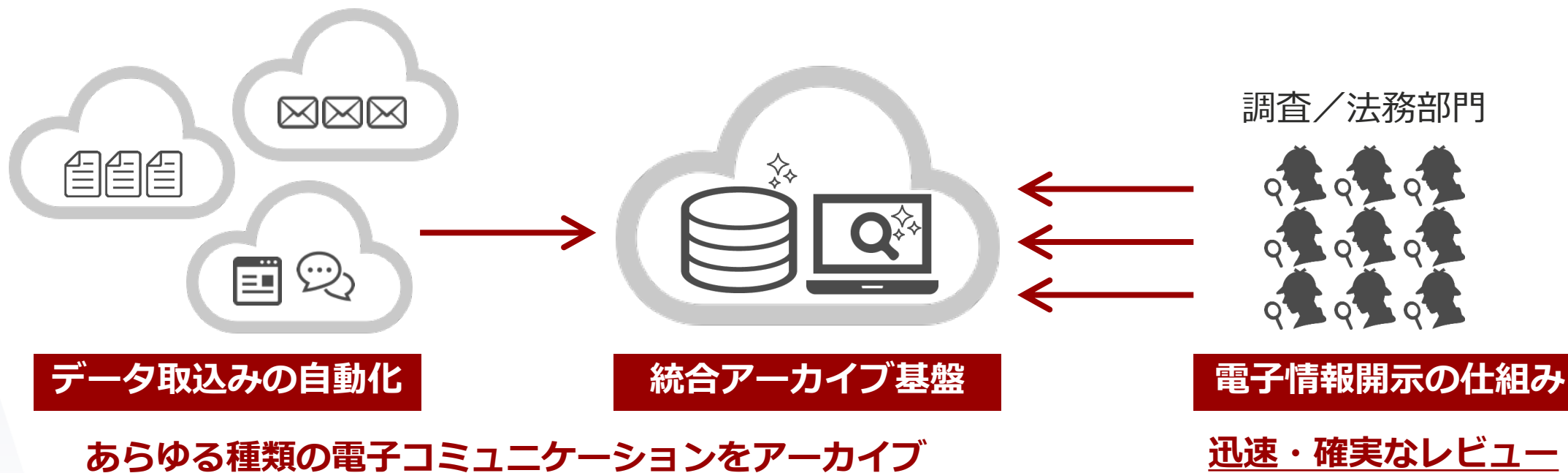
## 経営部門

- ✓ 検索精度や検索速度に不満
- ✓ 検索条件や進捗状況を共有しづらい
- ✓ 受け渡されたデータが足りず再度依頼

- ✓ 長期間/コスト大
- ✓ 企業秘密漏えいのリスク
- ✓ 企業価値低下/信用失墜のリスク

# eディスカバリーソリューション選定ポイントとは？

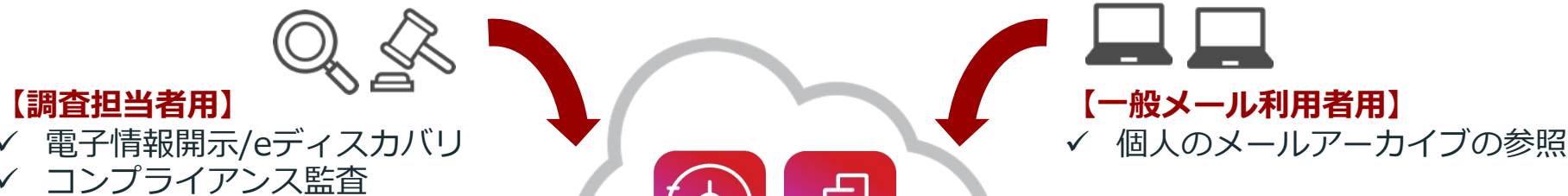
**eディスカバリーソリューションの導入目的**  
「時間短縮」「コスト削減」「情報漏洩リスク低減」





- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- **ベリタスの電子情報開示支援ソリューション**
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

# クラウド型アーカイブ & 電子情報開示支援サービス



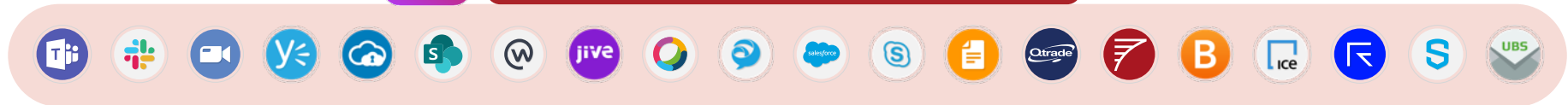
**Veritas Alta Archiving  
Veritas Alta eDiscovery**

- クラウド**
- Microsoft 365
  - G Suite Enterprise

- 高速で正確な検索機能
- オンラインでメール調査
- 十分な容量
- 退職者のメールも無償保管

- オンプレミス**
- Exchange
  - Domino

**Veritas Alta Capture**



コミュニケーションツールが変更・追加された場合も、コンプライアンスツールを変更する必要がなく、移行前と移行後のメールの両方を1つの管理画面から検索可能

# オンプレのアーカイブソリューションとの比較

	Veritas Alta Archiving	一般的なオンプレのアーカイブソリューション
運用面	<p><b>SaaSサービスによるシンプルな運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ セキュリティに関する多くの認証を取得</li> <li>✓ ユーザ当たりの十分な容量、容易な容量追加</li> </ul>	<p>オンプレミスに構築するため、下記が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>ハードウェア、ソフトウェアの準備</b> (サーバ、ストレージ、データベース)</li> <li>✓ ハードウェア、ソフトウェアの<b>保守、障害対応</b></li> <li>✓ <b>定期的なリプレイス、バージョンアップが不要</b></li> <li>✓ アーカイブデータの<b>バックアップ、BCP対策</b>の考慮</li> <li>✓ <b>セキュリティ面</b>の考慮</li> <li>✓ <b>容量追加、パフォーマンス追加</b>でハードウェア増設</li> </ul>
費用	アクティブなアカウント数 月額サブスクリプション	ソフトウェアライセンス、ハードウェア、保守費用に加えて、 <b>構築、リプレイス、バージョンアップの費用</b> が必要
アーカイブソリューションのアップデート	四半期ごとに自動アップデート	手動アップデートが必要
検索速度	<b>平均2秒以下</b>	ハードウェア依存（拡張の難易度は優しくない）
メール以外のコミュニケーションツールへの対応	SaaSサービスで容易に開始可能 四半期ごとに自動アップデート	対応が限定的、または、対応不可

# あらゆるコミュニケーションを Veritas Alta Capture にてキャプチャ



Veritas Alta Capture は、  
**120種類以上のコミュニケーションソース**から  
直接**キャプチャー**するための最先端のソリューション

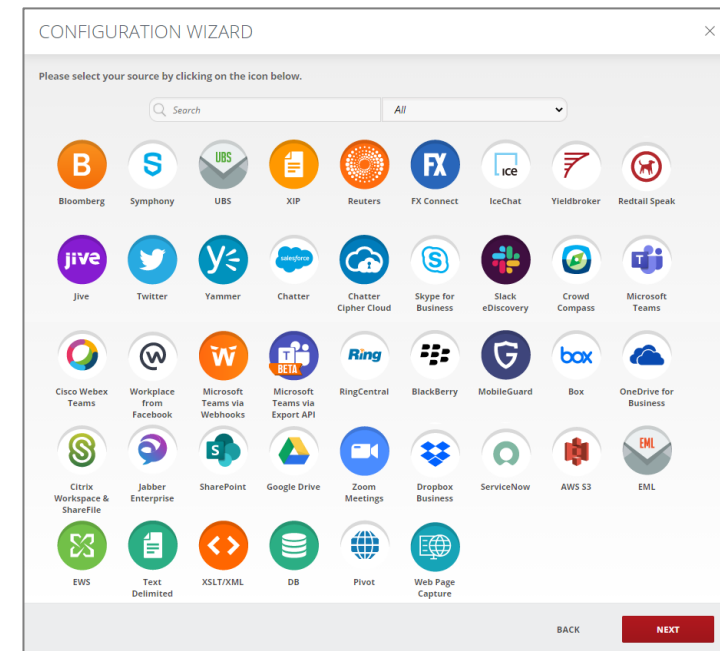
- ✓ Veritas Alta Capture は、  
市場で **15年以上の実績**を持つ、  
信頼できるコンプライアンスソリューション
- ✓ 120以上の異なるコンテンツソースをサポート
- ✓ **Microsoft、Slack、Zoom など、  
多くのコンテンツソースから推奨・支持**
- ✓ オンプレミスやクラウドなど、既存のインフラで動作
- ✓ Veritas Alta Archiving / Enterprise Vaultに対応

# Veritas Alta Capture 対応アプリケーション

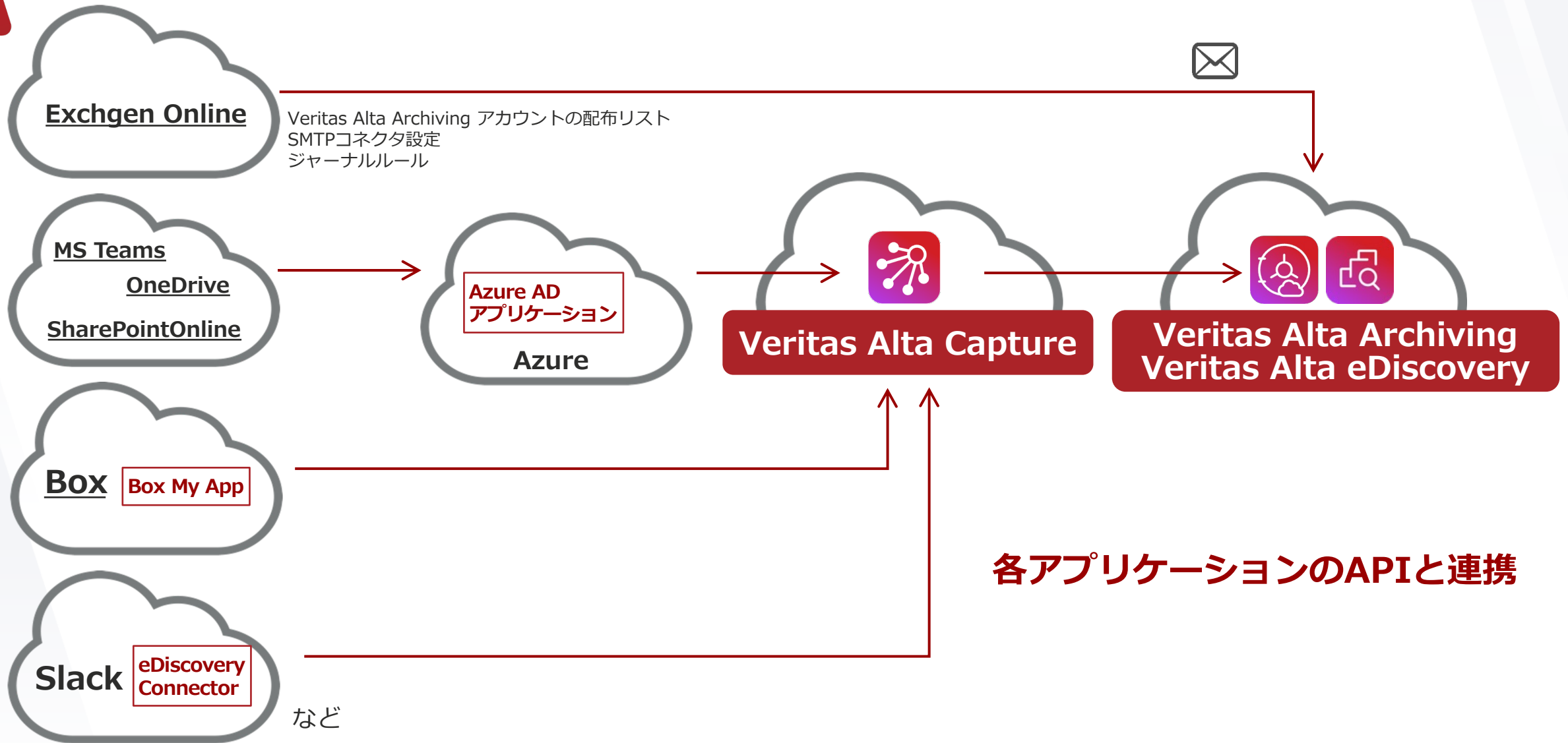
AMAZON S3  
BLACKBERRY  
BLOOMBERG  
BOX  
CELLTRUST  
CHATTER  
CHATTER CIPHER CLOUD  
CISCO WEBEX TEAMS  
CITRIX WORKSPACE & SHAREFILE  
CROWD COMPASS  
DROPBOX BUSINESS  
EML  
EXCHANGE GRAPH API  
EWS  
FX CONNECT  
GOOGLE DRIVE  
ICECHAT  
MICROSOFT TEAMS MEETINGS  
MICROSOFT TEAMS VIA EXPORT API  
MICROSOFT TEAMS VIA WEBHOOKS

ONEDRIVE FOR BUSINESS  
PIVOT  
REDTAIL SPEAK  
REFINITIV  
RINGCENTRAL  
SERVICENOW  
SHAREPOINT  
SLACK EDISCOVERY  
SYMPHONY  
TEXT-DELIMITED  
TWITTER  
UBS  
WEB PAGE CAPTURE  
WORKPLACE FROM FACEBOOK  
XIP  
YAMMER  
YIELDBROKER  
YOUTUBE  
ZOOM MEETINGS  
ZOOM MEETINGS VIA  
ARCHIVING API  
など

**120種類**以上の  
アプリケーションに対応  
約1ヶ月ごとのアップグレードで  
対応アプリケーションを拡大中！！



# Veritas Alta CaptureはAPI連携にて、コミュニケーションをキャプチャ



# Veritas Alta Capture 実績

多数の金融のお客様を含む、多くのお客様でご利用いただいております。

- ✓ 金融
- ✓ 工業
- ✓ スポーツ&エンターテイメント
- ✓ 医薬品
- ✓ 商業
- ✓ 教育
- ✓ ソフトウェア
- ✓ ヘルスケア
- ✓ 政府



Veritas Alta Capture はまさにこの分野における先駆的な製品です。私たちが抱える多くの複雑な問題に対応するソリューションを簡単に構築できます。それに加えて、サポートチームも一流です

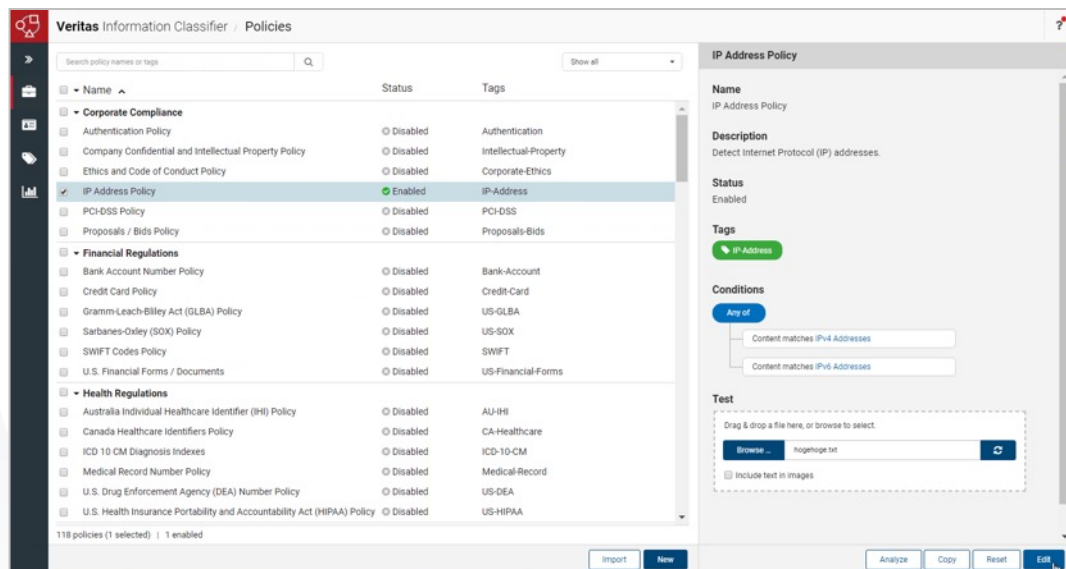
Bo He 氏  
KKR & Co. Inc. 社 副社長



# Veritas Alta Classification 分類エンジン

## データの中身をスキャンし、タグ付け、可視化する技術

この分類エンジンは、日々アーカイブされるデータをコンテンツの中身に対して、ポリシーを元に分類し、ディスカバリ対応の迅速化を支援します。



- ✓ **900以上のパターン**  
(生年月日、社会保障番号、クレジットカード番号、診療録など)
- ✓ **140以上のポリシー**  
(GDPR, CCPA, HIPAA, Sarbanes-Oxleyなど、世界各国の規制に対応)
- ✓ **新しいパターンやポリシーを継続的に追加**  
(ランサムウェア検出、COVID-19関連など)
- ✓ **パターン、ポリシーのカスタマイズも可能**

# 国内ユースケース (Veritas Alta Archiving / eDiscovery)



CUSTOMER SUCCESS

## 株式会社LIXIL

グローバルNo.1を目指すLIXILが  
50,000ライセンスのEV.cloudを導入

Office 365とEV.cloudを組み合わせたメールアーカイブにより、ガバナンスおよびコンプライアンス強化をグローバル規模で実現

株式会社LIXILを中心としたLIXILグループは、世界的150の国と地域で住生活に関連する商品を展開するグローバルカンパニー。同社は2011年4月1日に、トステム株式会社、株式会社INAX、新日軽株式会社、サンワエレ工業株式会社、東洋エクスティア株式会社と統合して誕生した。2013年には、北米のアメリカンスタンダード・フランスとインドのスターアルビルドを子会社化し、2015年にドイツのグロエグループを子会社化して、世界の住生活産業を牽引する企業へと成長してきた。そして、2015年に5万人規模でOffice365のクラウドメールを導入し、そのアーカイブサービスとして、会社の運用問題につながるような重要な情報の保存、開示に役立つクラウドベースのメールアーカイブサービスEnterprise Vault.cloud(以下:EV.cloud)を採用した。



Link to Good Living



上野彰の役員 COO 情報システム部長 本部長 小坂 浩之 次長 情報システム部長 Information Excellence 部長 田代 昌典 部長 田代 昌典

株式会社 LIXIL  
Link to Good Living

### 住宅ソリューション事業を提供するグローバル企業のITミッション

住生活産業における革新的な製品とサービスで、世界中の人びとの暮らしに貢献する「真のグローバル企業」を目指すLIXILグループ。同社は5社が統合した2011年からの2年間は、「経営基盤の確立」に取り組みしてきた。そして、2013年からは合併によるグループ化の強化で、「世界展開の確立」を果たしてきた。現在は、事業発展の基盤となる「世界に広がるグローバル企業」を目指している。その基盤地盤は、世界的150の国に及び、グローバルでの約8万人のスタッフが活躍している。そのLIXILグループで使っているのが、情報システム本部長の株式会社LIXILの上野彰執行役員で、CIO 兼 情報システム本部部長の小坂浩之氏。その役割や使命について、次のように切り出す。

「グローバルにおける企業経営にとって、データ分析を中心とした経営戦略は、必須だと捉えています。つまり、グローバル経営データ経営なのです。そのためIT部門ができること、やらなければならないことは、数多くあります。例えば、グローバル企業では、海外の売上や在庫のデータを一元的に見るための業務標準システムを構築し、データが揃って当たり前になります。しかし、日本ではそのようなグローバルスタンダードで確立したITインフラの構築を完結できていないのは、まだ15年にも満たないといわれています。こうした日本と世界のITインフラの違いは、情報システム部門の意識の違いにあるのだと思っています」

小坂氏も指摘するIT部門の意識とは、どういうものか。

「これまでのIT部門というと、ITインフラを構築・運用するエキスパートの集まりだと捉えられてきた。しかし、これからはそうしたスキルの上に、経営や業務に対して的確にソリューションを提案できる知識が求められる。そのためは、グローバルスタンダードを意識し、付加価値の高いクラウドサービスを積極的に採用していくべきなのです」

### 会社概要

株式会社LIXIL  
http://www.lixil.co.jp/

- 従業員数：連結従業員数 52,427人 (2015年3月31日)
- 業 種：建設土木業
- 事業内容：建材・浴槽組立の製造販売 及びその関連サービス業

### 導入概要

Enterprise Vault.cloud

### 課題

グローバル展開を支えるために、ITインフラをグローバルスタンダードにする。また、グローバル展開のメールのアーカイブを行い、コンプライアンスにも対応する。

### ソリューション

Office 365を5万ライセンス導入し、そのアーカイブのために、Enterprise Vault.cloudを採用した。

### 導入効果

- E-ディスカバリー法に対応できる最適なアーカイブの構築を実現
- グローバルでの展開を見据えたときに、十分に対応できたと評価

最終的には、EV.cloudとOffice 365のオプションとして提供されているアーカイブ機能を比較しました。そのときに重視したのは、コストパフォーマンスはもちろんですが、**グローバル対応とE-ディスカバリー法を順守できる検索性能**でした。グローバルスタンダードを見据えていくと、裁判所などから要請があったときに、決められた時間以内にメールを検索してエビデンスを提出できるかどうかは、重要なポイントでした

訴訟・仲裁で出された判決・裁定により法的に情報開示が求められる場合、対象となるメールデータを効率よく検索・抽出し、迅速に電子証拠としてまとめる必要があります。係る作業を人手のみで対応しようとするれば、目視による調査に長期間かかり、コストがかかるのと同時にリスクになり得ます。また、弁護士事務所などにその作業を依頼すれば、さらに膨大な費用が発生します。過去に送受信した大量のメールから、迅速かつ正確に必要な情報が抽出可能なシステムを導入することにより、**訴訟・仲裁リスクへの適時対応や調査コストの削減**が可能であり、総合的に見ても費用対効果が高いと判断しました



CUSTOMER SUCCESS

## 丸紅株式会社

e-ディスカバリー制度への迅速な対応とコスト低減のためにEV.cloudを採用

Office 365のメールを長期アーカイブ、コンプライアンス強化に貢献

「正・新・和」の精神を社風に掲げ、公正明らかな企業活動による経済や社会の発展、さらには地球環境の保全に貢献する丸紅株式会社。同社は「何に迷わず正義を貫く」という企業風土のもと、Global Challenge 2018という中期経営計画を推進しており、その計画では、2020年に向けて丸紅グループが「強」を構築させた強靭なグループへと成長するビジョンを掲げている。強い「信」の活かし方によって、メールは不可欠なコミュニケーション基盤。同社はOffice 365(Exchange Online)の前身であるBPOSから導入検討を開始し、そのリリースとともにクラウドメールの利用を開始している。そのメールシステムにEnterprise Vault.cloud(EV.cloud)によるアーカイブ機能を追加、コンプライアンスの強化を推進している。

Office 365を早期に導入しアーカイブの対応も検討してきた

丸紅株式会社は、2012年9月から国内で全社的にOffice 365のメールを利用するようになった。当時の状況について、導入に携わってきた丸紅ITソリューションズ株式会社ITプロジェクトマネージャー 第一着の山下真志氏は、次のように話す。

「2012年に導入したOffice 365のExchange Onlineは、アーカイブ機能を含んだライセンスを契約していましたが、当時はメールアーカイブは慎重に検討すべき、として即時導入を見送った背景があります」

メールのアーカイブをOffice 365の採用と同時に行うかどうかの懸念について、丸紅株式会社の情報企画 総務企画課の渡邊孝志氏が語る。

「部署によっては、業務に重要な重要な機密情報を含め、社内外の関係者に共有している場合があります。2012年当時の、機密情報を含むメールを長期保存することが当社にとってリスクになり得るのでは、との意見も多くあり、アーカイブに対しては慎重に検討を進めてまいりました。その一方で、米国のE-ディスカバリー制度に代表されるように、昨今、メールデータの保存や開示を適切に受けこななかった場合、訴訟・仲裁において不利な判決・裁定を受けるケースが懸念されており、当該リスクに対応するためには、一定期間経過後も削除不能な状態でメールをアーカイブすることが必要である、との意見もありました」

Office 365のメールをアーカイブするかどうかは、機会のあるIT部門内の関連する部門で意見が交わされたが、2014年までの段階では導入に至らなかった。その方向性を変えたのは、仮に訴訟・仲裁が発生した場合を想定し、訴訟・仲裁リスクへの適時対応やメールの開示にかかるコスト、開示を証した結果だった。

「訴訟・仲裁で出された判決・裁定により法的に情報開示が求められる場合、対象となるメールデータを効率よく検索・抽出し、迅速に電子証拠としてまとめる必要があります。係る作業を人手のみで対応しようとするれば、目視による調査に長期間かかり、コストがかかるのと同時にリスクになり得ます。また、弁護士事務所などにその作業を依頼すれば、さらに膨大な費用が発生します。過去に送受信した大量のメールから、迅速かつ正確に必要な情報が抽出可能なシステムを導入することにより、訴訟・仲裁リスクへの適時対応や調査コストの削減が可能であり、総合的に見て費用対効果が高いと判断しました」と渡邊氏は説明する。

訴訟・仲裁リスクへの適時対応に加えて、発生するコストの負担が軽減されたことにより、2015年上半期による審議決定が行われ、メールアーカイブを推進する方針が決定された。

### アーカイブされたメールの検索性能を評価してEV.cloudを採用

メールのアーカイブを導入するという決定が下された、丸紅ITソリューションズではOffice 365のExchange Onlineに選りだされたアーカイブのライセンスをそのまま利用するか、サードパーティのサービスを活用するかを検討した。



### 会社概要

丸紅株式会社  
http://www.marubeni.co.jp/

- 従業員数：4,437名
- 業 種：卸売業
- 事業内容：食料、繊維、建材、石油・化学品、エネルギー、金属、機械、船舶、輸送、情報通信 卸売業 等の総合的取引を主とした輸出入(外国取引を含む)及び国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資産管理の事業活動を多岐に展開。

### 導入概要

Enterprise Vault.cloud (EV.cloud)

### チャレンジ

e-ディスカバリー制度への対応など、公正明かな企業活動のためにメールのアーカイブによるコンプライアンスの強化。

### ソリューション

国内で利用しているOffice 365の4500ライセンスに対し、Enterprise Vault.cloudを採用して、メールのアーカイブを実現。

### ベネフィット(導入効果)

- E-ディスカバリー法への迅速な対応を可能にする、多量案件での調査効率化を実現
- アーカイブの導入により、「常に迷わず正義を貫く」という企業風土を実現
- 本社以外のグローバル企業や海外へはEnterprise Vault.cloudの採用を検討

<https://www.veritas.com/ja/jp/customer-success/lixil-group>  
<https://www.veritas.com/ja/jp/customer-success/marubeni-corporation>

# Veritas Alta Archiving / eDiscovery と 他社ソリューションとの機能比較

項目	Veritas Alta Archiving / eDiscovery	他社ソリューション
調査対象	○ ジャーナルメール（受信および送信電子メールの全記録）	▲ 各個人のメールボックス、共有メールボックス
メール以外の対応	○ Veritas Alta Captureとの併用により、 120種類以上のコミュニケーションツールに対応	× メールのみ
検索速度・精度	○ 高速&高い精度の検索	▲ 微妙な検索速度・精度であることが多い
検索結果の表示	○ 重複なし（ジャーナルメールは常に1つの原本） 検索された全メールの中身を確認できる	▲ 別メールボックスの同じメールが表示 プレビューは一部のみ、全文を見るには エクスポートが必要
電子情報開示	○ EDRMに準拠 (1) 電子情報開示プロセスに沿ったオンライン利用 (2) 複数のレビューワーが調査対象のメールを審査 (3) タグ付け、マーク、レビューステータス、コメント (4) 選定したメールを絞り込んで提出	▲ 検索機能のみでエクスポートが必須 (このレベルのサービスが大半) 検索による絞り込みと審査結果はタグ付けのみ
個人情報のタグ付け	○ Veritas Alta Classification 分類エンジン クレジットカードやパスポート番号などの個人識別情報を認識するパ ターンが710以上、規制対応のポリシーを110以上搭載	× なし
保持期間	○ アーカイブ保持期間を指定可、無期限も可(費用追加無し)	○ アーカイブ保持期間を指定可 ジャーナル保持サービスがあっても別途有償
訴訟ホールド	○ ケース登録時に指定	○ ケース登録時に指定
データ提出	○ エクスポート機能	○ エクスポート機能
退職者のメールの扱い	○ 退職者の過去メールはライセンス対象外 継続してデータは保持される	▲ 調査対象者として選択するためには、 メールボックスを有効に変更する
過去メールのインポート	○ PST, NSF, EML, MSG形式の取込み	○ 主に PST形式のメールインポート
監査・調査する利用者	○ クラウドとは完全分離したレビュー専用アカウントが用意可	▲ 当クラウドサービスの利用者であること

# Veritas Alta Archiving / eDiscoveryによる高速なデータ検索

✉ メール件数	🗄️ 総容量	Veritas Alta Archiving Veritas Alta eDiscovery	他社ソリューション
約1,000通	150MB	1~2秒 約5倍	4~10秒
約11,000通	約1.1GB	2~3秒 約20倍	45~50秒

※検証に基づくものであり、保証はいたしかねます。

Veritas Alta Archiving / eDiscoveryでは検索用のインデックスを作成することで、高速な検索が可能。短期間で目的のデータにたどり着くことができるため、情報開示の期日を順守しながら、不要な情報まで開示してしまうリスクを削減できます。



# Veritas Alta Archiving / eDiscoveryは ユーザ、IT、法務、経営部門の各部門にメリット

## ユーザ部門

**十分な容量\*、期間無制限の  
メールボックスを実現**



今まではメールボックス容量に制限があり、大事なメールも定期的に削除していました。

\* 標準のサブスクリプション費用では、1テナントあたり「15GB x 契約ユーザ数」容量のアーカイブデータを保持できます。この容量を超過する場合は、容量追加のサブスクリプションの購入が必要です。1ユーザ平均15GBです。15GBを超えるユーザがいても、全体の容量が「15GB x 契約ユーザ数」を超えない限りは追加費用は発生しません。

## IT部門

**クラウドサービスのため基盤の管理不要、  
有事の際もデータ収集不要**

これまでは、  
アーカイブ基盤の  
バージョンアップ、  
リプレースが悩みでした。



有事の際もデータの  
移動・収集が不要なので、  
改ざんを疑われる  
リスクがなくなりました。

## 法務部門

**高速な訴訟／コンプライアンス調査  
タスク分担／進捗共有が容易**



タスク分担、ラベル付などGUIで簡単に。  
エンターを押してランチに行こうとしたら、  
もう検索が終わっていたんです。

## 経営部門

**調査コスト削減  
企業価値低下／信用失墜のリスク削減**



eディスカバリは数億円の費用がかかることも。  
Enterprise Vault.cloudで、グローバル化のリスクに  
先手を打つことができました。

# Microsoft 365 のコンプライアンスを強化

Veritas Alta Archiving / eDiscovery / Capture は、Microsoft 365 のコンプライアンスを強化します。

## 性能向上

インデックス作成の改善  
高速な検索パフォーマンス  
エクスポートのパフォーマンス向上

## 120種類以上のコンテンツソースに対応

チャット、ソーシャルメディア、音声、ビデオなど

## アーカイブデータの確実な保持

Veritas Alta Archivingでは、ジャーナルデータをアーカイブし、エンドユーザがデータを削除することはできません。Microsoft 365ではデータが削除できてしまい、それを防ぐには、全てのデータを訴訟ホールドする必要があり、これは、記録管理のベストプラクティスに反し、法務チームの要望に反します。



Microsoft 365 だけではメッセージの検索が難しく、必要なものがすべて保存されているとは言い切れませんでした。だからこそ、このソリューションを選択しました。今では、検索機能のおかげで、誰が誰に何を言ったのかが明らかになりました。



Geoff Pangonis 氏  
メッセージング管理者 VHB 社

# 【まとめ】 Veritas Alta Archiving / eDiscovery / Capture による コンプライアンス対応

データ取込みの自動化

統合アーカイブ基盤

電子情報開示の仕組み



あらゆる種類の  
電子コミュニケーションに対応

Veritas Alta Archiving  
Veritas Alta eDiscovery

Veritas Alta Capture

eディスカバリの時間短縮、  
コスト削減、リスク低減

DX時代の多様化する電子コミュニケーションへのコンプライアンス対応のため  
Veritas Alta Archiving / eDiscovery / Capture をご検討ください！



# ベリタスが選ばれる理由： データ・コンプライアンスのリーダー

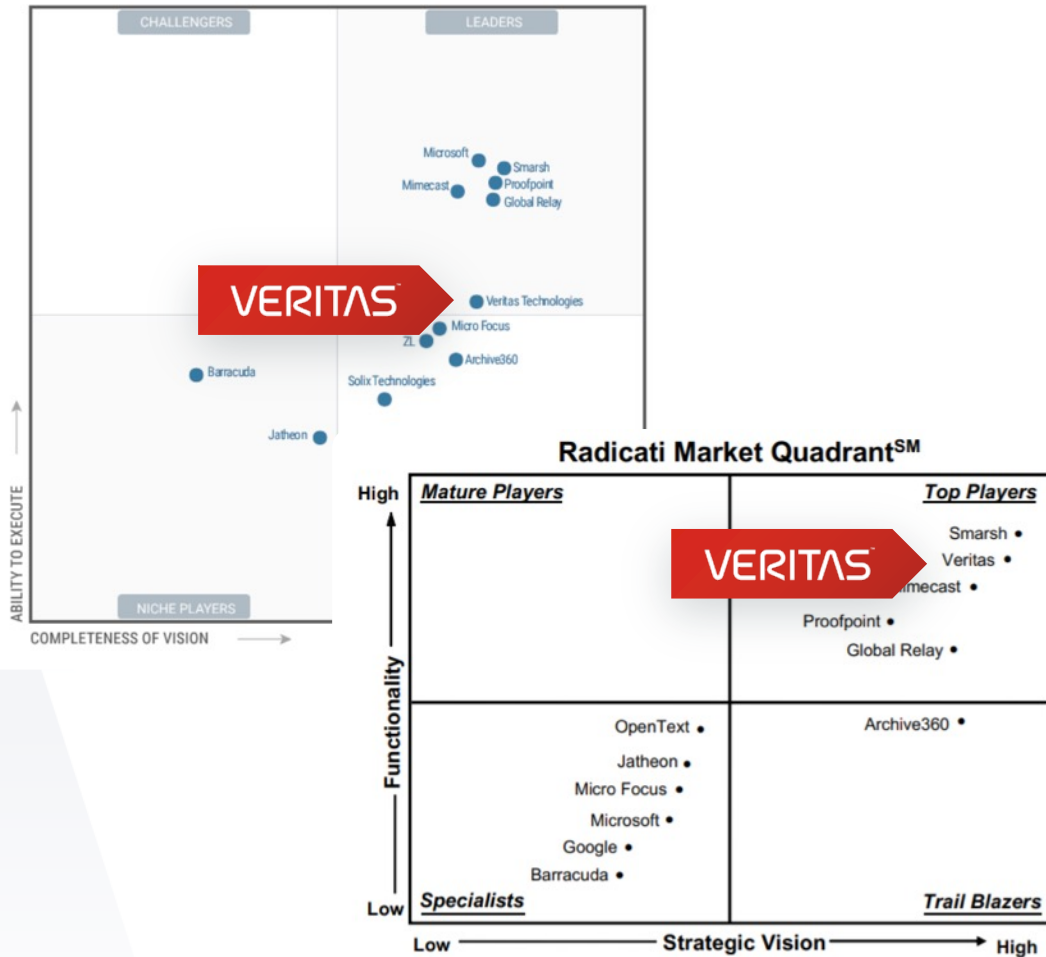


Figure 2: Information Archiving Market Quadrant, 2022\*



15回 Gartner®  
Magic Quadrant™  
リーダー

エンタープライズ  
情報アーカイブ部門



1998年からの  
アーカイブ業界の  
市場リーダー

Gartner Group,  
Enterprise Infrastructure  
Market share, April 2022



金融業界の  
トップ100社中73社が  
ベリタスを選択



あらゆる  
コミュニケーション  
ソースに対応

メールを含め、  
M365をはじめとする  
120種類のコミュニケーション



コンテンツ自動分類  
AI/機械学習

自動化、運用のシンプル化、  
ノイズを削減し、  
情報ガバナンスの加速



柔軟なデプロイメントの  
選択肢がある  
唯一のソリューション

オンプレ、IaaS、ハイブリッド、  
仮想環境、SaaS

- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- **補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）**

# ライセンス体系

課金対象：アーカイブ対象のアクティブなメールボックス数（ユーザ数）

退職等で新規アーカイブを停止する場合は、課金対象から外れ、これまでのアーカイブは継続保持されます。

製品	製品エクステンション	課金対象	① Personal	② eDiscovery	③ Classification	④ Capture	⑤ Surveillance
VERITAS ALTA ARCHIVING	DISCOVERY AND PERSONAL	ユーザ数	○	○			
VERITAS ALTA ARCHIVING	DISCOVERY OPTION	ユーザ数		○			
VERITAS ALTA ARCHIVING	PERSONAL OPTION	ユーザ数	○				
VERITAS ALTA EDISCOVERY	SUITE	ユーザ数	○	○	○		
VERITAS ALTA CAPTURE	アプリケーション毎にあります	アプリ毎 ユーザ数				○	
VERITAS ALTA SURVEILLANCE	SUITE	ユーザ数	○	○	○		○
VERITAS ALTA SURVEILLANCE	WITH ALTA EDISCOVERY	ユーザ数		○	○		○

## 各機能の内容

機能	内容
① Personal	一般メール利用者用、個人のメールアーカイブの参照
② eDiscovery	eディスカバリ、調査担当者用、アーカイブの横ぐし検索
③ Classification	分類エンジン、データの中身をスキャンしタグ付け・可視化
④ Capture	ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、ファイル共有などをキャプチャ
⑤ Surveillance	コミュニケーションの監視

# Veritas Alta Archiving eディスカバリ 画面サンプル

各メールに、レビューステータスを付与  
 Not reviewed: 未レビュー  
 Escalate: 要確認  
 Inrelevant: 関連なし  
 Privileged: 秘匿特権情報  
 Redact: 要墨入れ  
 Relevant: 関連あり

The screenshot displays the Veritas Alta eDiscovery interface. On the left, there is a navigation sidebar with options like 'Investigations', 'Dashboard', 'Reviews', and 'Review Status'. The main area shows a search results table with columns for 'From', 'To', 'Subject', and 'Date'. A 'Review Status' dropdown menu is highlighted, showing options: 'Not reviewed', 'Escalate', 'Inrelevant', 'Not Applicable', 'Privileged', 'Redact', 'Relevant', and 'Responsive2'. Below the table, there are filters for 'Has Attachment', 'Assigned To', 'Labels', 'Review Status', and 'Attachment Type'. An 'Export Options' dialog box is open, showing 'Message Format' options (EML with EDRM, PST with EDRM, MSG with EDRM, FTI-RingTail, PST) and 'Export Name' and 'Export Password' fields. A red dashed box highlights the search criteria and filters on the left, with a red arrow pointing to the search results table. Another red dashed box highlights the 'Review Status' dropdown menu. A third red dashed box highlights the 'Export Options' dialog box.

下記などで検索が可能です。  
 メッセージ内容、件名、From、To、  
 添付ファイルの有無、添付ファイルのタイプ、  
 添付ファイルの名前、送信日

レビューステータス等を指定して、  
 エクスポート可能です。

# Veritas Alta Capture キャプチャできるアクティビティ (例 1/2)

## MS Teams

- Chat Messages
- Private Channel Messages
- Public Channel Messages

キャプチャされるメッセージには下記を含みます。

- Chat/Channel info
- Mentions
- Attachments
- Third-party integration apps and bots
- Emojis
- Reactions

## SharePoint Online

- Newsfeed/Document library/ Picture library posts
- Newsfeed /Document library/ Picture library comments
- Custom lists
- Custom lists comments
- Site page comments

## OneDrive for Business

- Uploaded files
- Renamed files
- Move to events with the file
- Delete event without the file1
- New created documents via browser with the file

# Veritas Alta Capture キャプチャできるアクティビティ (例 2/2)

## Box

- Posts
- Files
- Comments
- Shares
- Deletes (Requires triggers)
- Edits (Requires triggers)
- Links
- Polls
- Private chats
- Group chats
- Feed poll choices (If Modify all data permission is enabled)
- New event/task contact/opportunity/case/lead
- All online communications, including attachments and deleted information (if the triggers are set)

## SLACK eDISCOVERY

- Activities from all workspaces
- Direct messages
- Multi participant direct messages
- Channel conversations/messages
- Attachments (the attachment itself is included in the message generated by Veritas Alta Capture as an attachment)
- Attachments shared using third-party integrations such as OneDrive (only the link is included in the body of the message generated by Veritas Alta Capture)
- Emojis (as text)
- Deletes (including the deleted message and the event itself)
- Edits (including the message before and after it is edited)
- Guest conversations
- Message reactions (Note: Reactions for deleted messages aren't captured.)
- Shared channel events (channels shared with external organizations1)
- Channel join event
- Set channel purpose event
- Files delete event



# レビュー画面 (Microsoft Teams)

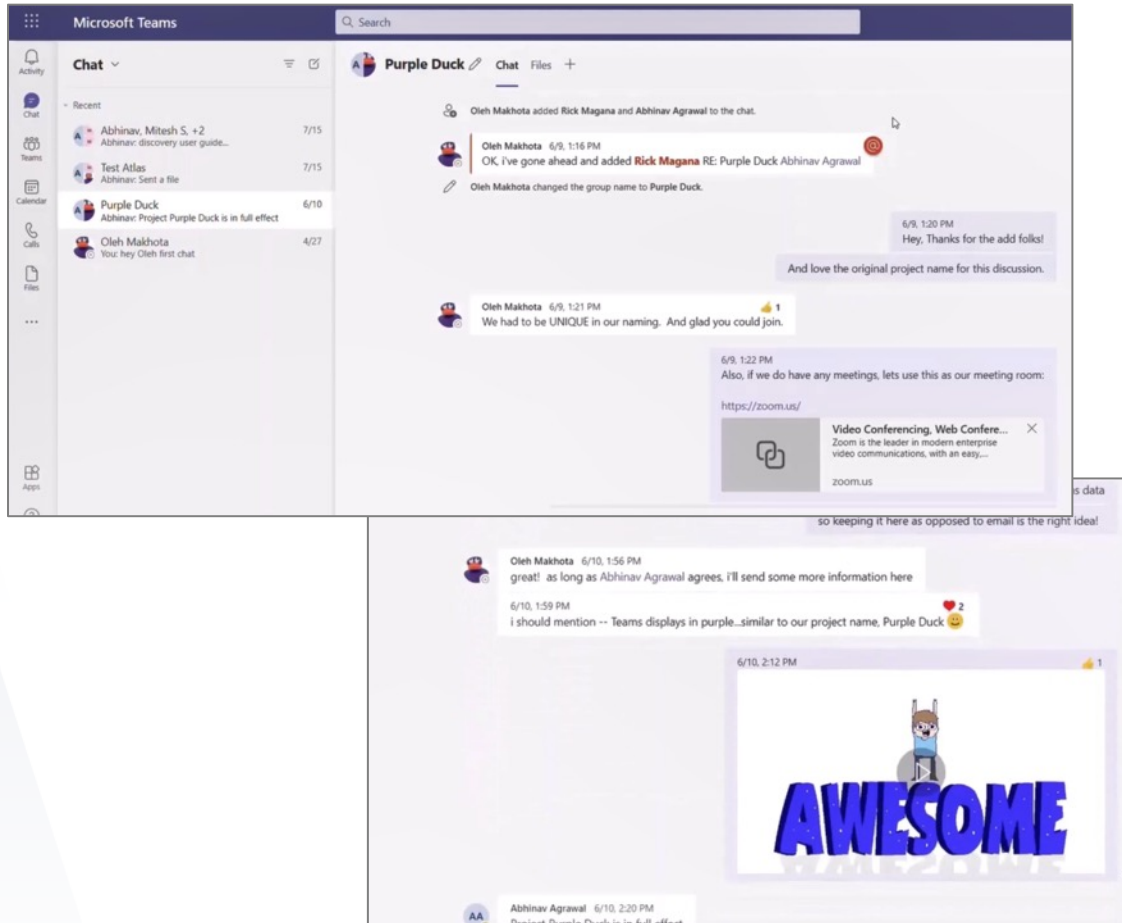
Collaborationタブを選択することで、チャット全体のネイティブ表示が可能です。

The screenshot shows the Microsoft Teams search interface. The left sidebar contains navigation options like Home, Investigations, My Mailbox, Managed Accounts, Microsoft Teams, Tags & holds, Back Processes, e-Discovery, Administration, Matters, and Legal. The main search area shows 53 search results found. The 'Collaboration(3)' tab is highlighted with a red box and labeled 'Collaborationタブを選択'. The search results list messages from abhinav agrawal and mitesh shah. A conversation preview is shown on the right, featuring a URL preview for an Amazon link, reaction icons (thumbs up/down), and classification tags. A file attachment is also visible at the bottom of the conversation preview, labeled '添付ファイル表示'.

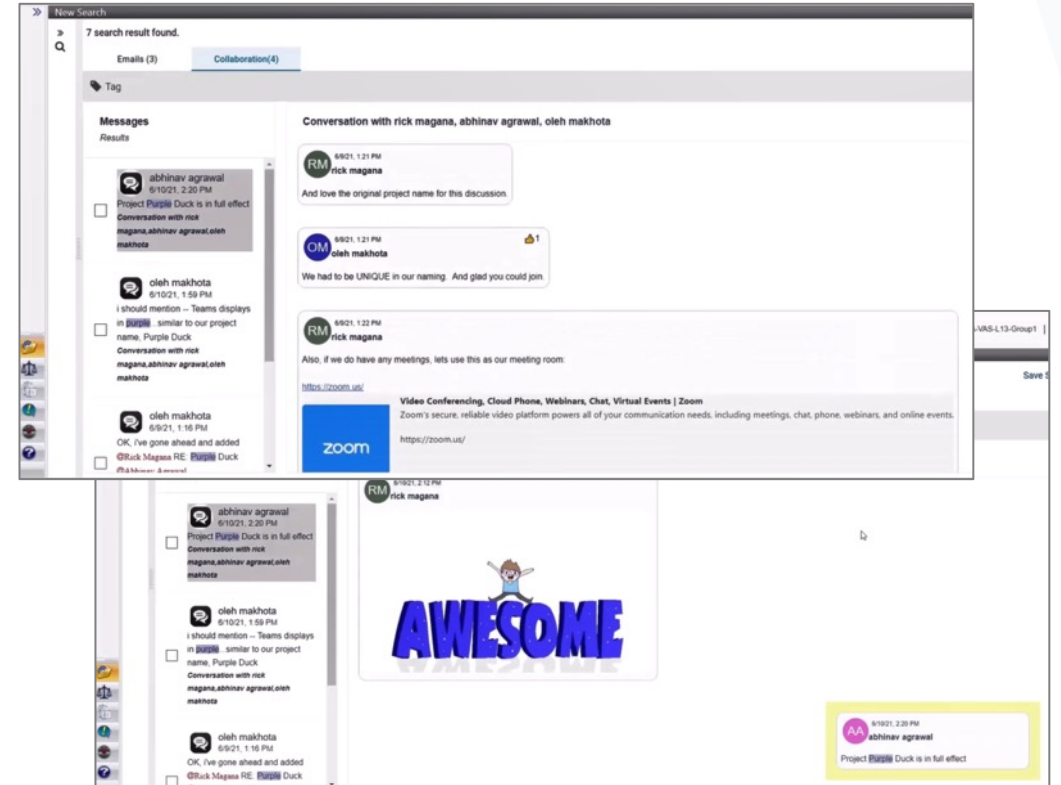


# レビュー画面 (Microsoft Teams)

## 【Microsoft Teamsの画面】



## 【Veritas Alta eDiscoveryの画面】



MS Teamsの画面と同様に、スレッドでチャット内容を確認可能

# レビュー画面 (OneDrive)

ファイルアプリケーションに応じた、メタデータを表示でき、検索に使用できます。

	Name	Modified	Modified By	File Size	Tags
<input type="checkbox"/>	Discovery.cloud...	June 2, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	3.27 MB	
<input type="checkbox"/>	SC Usage May 20...	July 13, 2021	rick magana User1	17.64 MB	
<input type="checkbox"/>	Merge1 User Gui...	July 15, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	21.6 MB	
<input type="checkbox"/>	Discovery.cloud...	July 15, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	3.27 MB	
<input type="checkbox"/>	zip_2MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	1.94 MB	
<input type="checkbox"/>	zip_5MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	5.2 MB	
<input type="checkbox"/>	zip_9MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	9.22 MB	
<input type="checkbox"/>	zip_10MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	10.18 MB	

ファイルの  
メタデータ表示

ファイルプレビュー



A nighttime cityscape with a network overlay of blue lines and dots. The city lights are visible in the background, and the network lines are overlaid on the scene. The text 'VERITAS™' is in the top right corner.

VERITAS™

ありがとうございました

Copyright © 2023 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.